2024年10月作成

貯法	室温保存

CNS-1

承認指令書番号	26動薬第2928号
再審査結果	1988年６月

動物用医薬品

性腺刺激ホルモン放出ホルモン製剤

要指示医薬品　指定医薬品

コンセラール®注射液

【本質の説明又は製造方法】

コンセラール注射液は、１mL中に酢酸フェルチレリンを50 μg含有する注射剤である。

酢酸フェルチレリンは、国内で実施されたペプチドの合成研究から創製された性腺刺激ホルモン放出ホルモン（GnRH）の類縁化合物である。分子量が小さいため、抗体産生の可能性が低く、反復投与が可能である。

【成分及び分量】

品　　名	コンセラール注射液
有効成分	酢酸フェルチレリン
含　　量	本品１mL中に50 μg

【効能又は効果】

牛の卵胞のう腫、排卵障害、卵巣静止の治療及び排卵促進

【用法及び用量】

１回１頭当たり酢酸フェルチレリンとして100～200 μgを筋肉内に注射する。

【使用上の注意】

（基本的事項）

１．守らなければならないこと

（一般的注意）

・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
・本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

・小児の手の届かないところに保管すること。
・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
・バイアル使用時には、ゴム栓をエタノール綿等で清拭すること。
・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
・バイアルを分割使用する場合は、できるだけ速やかに使用すること。
・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

２．使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

・妊娠中の女性及び妊娠している可能性のある女性には注射作業を行わせないこと。
・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

（牛に関する注意）

・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

酢酸フェルチレリンは下垂体前葉を刺激して、黄体形成ホルモン（LH）及び卵胞刺激ホルモン（FSH）の分泌を促進し、分泌されたLH及びFSHが卵巣に作用して効果を示す。

【包装】

100 μg／２mL×５アンプル
500 μg／10mL×５バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

MSDアニマルヘルス株式会社
東京都千代田区九段北一丁目13番12号
TEL 03-6272-1099　FAX 03-6238-9080

製造販売元
MSDアニマルヘルス株式会社
東京都千代田区九段北一丁目13番12号

MSD
Animal Health

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html）にも報告をお願いします。